

## 海外派遣留学プログラム 留学中報告書

所属：文学部

学年：3 年

留学先大学：University of Eastern Finland

現在の学期：Fall semester

時間割：

曜日	履修科目名・時間等
月	
火	1 ターム 10:00-12:00 Trends in Anglophone Literature① 14:00-16:00 Introduction to English Studies② 2 ターム 12:00-14:00 Societal Perspective on Translation③ 14:00-16:00 Introduction to English Studies
水	1 ターム 12:00-14:00 Second language acquisition④ 2 ターム 12:00-14:00 Second language acquisition 14:00-15:00 Changing English⑤
木	1 ターム 14:00-16:00 Introduction to Sociolinguistics⑥ 2 ターム 12:00-14:00 Changing English 14:00-16:00 Introduction to Sociolinguistics
金	1・2 ターム 10:00-12:00 Finnish1A(online)⑦
土・日	

### 履修科目や近況について

履修科目は英語学習に関するものが殆どで、翻訳に興味があるため翻訳の授業や、関連のありそうな授業を選びました。21 世紀の文学に関する授業を履修したかったですが、その授業を履修するために必須となる別の授業がスケジュールの関係でとれそうになかったため、諦めました。⑦のフィンランド語の授業に関してはスケジュール上は時間が決められていますが、自分の空いている時間に自分のペースで進めるものであり、期限までにすべての授業を視聴するという形です。私は交換留学生という形で留学しているため、学習要件は母国の大学に従うようにということで、1 タームでいくつ授業を取らないといけないというような決まりは一つもありませんでした。英語で開講されているものに限りませんが、学部を超えて授業の履修も可能なようです。

① Trends in Anglophone Literature は英語圏文学の風潮の変化について学びました。計 4 回の授業ですでに終了していますが、4 回の授業を受けてそれぞれの授業の内容を踏まえて自身の考えや気づきをまとめたレクチャーダイアリーというものの提出が最終課題となっています。

② Introduction to English Studies は言語・文学・翻訳の 3 部構成になっており、それぞれ各分野の専門の先生方が実験的・理論的な観察などを踏まえたプレゼンテーションをしてくださいます。また、分野別に文献講読が求められており、その文献とそれぞれのプレゼンテーションを踏まえて、自身の考えをまとめるレクチャーダイアリーが最終課題となっています。

③ Societal Perspective on Translation は翻訳の役割や社会に与える影響、翻訳の制

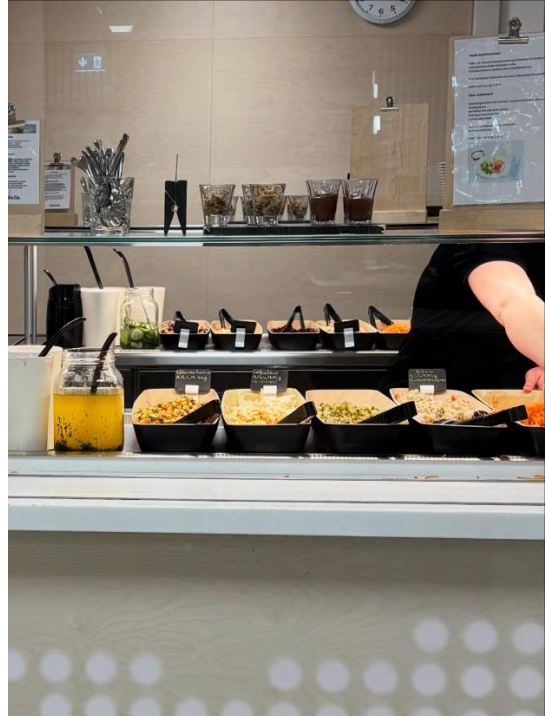
限など、多角的視点から翻訳を学ぶ授業です。まだ授業が始まっていないため詳細は分かりませんが一番楽しみにしている授業です。自身の言語のバックグラウンドについて、文献を通じた自身の考えやまとめ、第二言語習得途中の人へのインタビューについてそれぞれまとめた3つのレポート、さらに自身でテーマを選択し文献を参考にしながら考えを述べるレポートが最終課題です。

- ④ Second language acquisition は様々な視点から第二言語の習得について学びます。ティーチングメソッドやモチベーション、学習者の能力や獲得過程の観察など、自身が現在英語を第二言語としている身からすると、自身と照らし合わせて考えられるためとてもためになる授業です。
- ⑤ Changing English は英語がこれまでにどのように変化を遂げてきたのか社会学、構造、文学からといったように多角的に変化を学びます。この授業もまだ始まっていないので詳細は分かりません。
- ⑥ Introduction to Sociolinguistics は丁寧さ・言語の変化・優位性など社会学的視点から、対象が変わると言葉も変わるのか、アクセントに対する考え方などを学んでいます。言語は英語ですが、言語そのものの捉え方や捉えられ方を学ぶことが出来ます。授業の中で自分が興味を持った社会言語学に関するテーマのプレゼンテーションを行います。最終的にその場でもらったフィードバックと、5つ以上の文献の参照が必須となったレポート（5ページ程度）の提出が最終課題です。
- ⑦ Finnish1A はフィンランド語完全初心者向けの授業で、オンラインのため自身で進めていきます。数字の教え方や簡単な自己紹介の仕方、動詞の活用などを学んでいます。コースの最後にテストがあり、そこで基準点を超えれば単位を貰うことが出来ます。

生活面では三人でのシェアアパートで生活しており、個人の部屋があり、キッチン、トイレ、シャワーが共用となっています。部活動やサークルといったものには所属していませんが、留学生が参加できるグループに入っているなので、気になったイベントがあった際に友達と出かける形です。また、コーヒーフレンズという、のんびりしたアクティビティーをしながら他の学生と交流するイベントが最近始まったようなので来週から参加しようと考えています。学食はメインを選択し、野菜や副菜、パンがビュッフェ形式で好きなだけ取ることが出来ます。メニューや成分表示は各レストランのサイトで公開されるので、事前に調べて、レストランを選んで友達と食べています。学生証を見せるとかなり安く食べることが出来ます。また、9月の末にオーロラを見ることが出来ました。これから寒くなるとさらに見える確率が上がるようなので楽しみにしています。



アパートの共有部分



学食